

Together



<http://www.shukutoku.ac.jp>

No. **218** | 2017.10.1
Autumn

特 集

データで見る！
みんなのキャンパスライフ

淑徳大学 学生生活実態調査

学長メッセージ

世界の危機と建学の精神

ともいきのこころ

学祖と著作

淑徳人

JAいるま野 宮町支店 勤務

宇津木 秀さん

Campus News

知識モリモリ×健康モリモリ

フットケアをしましょう

Cover Person

加納 由惟さん

(コミュニティ政策学科3年)



デフ（聴覚障害者）バレーボール 女子チーム 16年ぶりの金メダル！ コミュニティ政策学部2年の 村木玲奈選手、手話で国歌斉唱。



表彰台にて(右から5番目中央が村木さん) 写真提供：一般財団法人 日本ろうあ連盟



(写真右) 熊谷俊人千葉市長を表敬訪問
(写真左) 対ウクライナ戦の村木選手 写真提供：一般財団法人 日本ろうあ連盟

7月19日から28日にトルコ・サムスン県で開催された第23回夏季デフリンピック競技大会サムスン2017において、コミュニティ政策学部2年の村木玲奈（むらきれな）さんが、日本代表女子デフバレーボールチームの一員として

優勝に貢献。見事16年ぶりの金メダルに輝きました。表彰式では「君が代」が流れ、手話での国家斉唱が行われました。

また帰国後、9月4日に熊谷俊人千葉市長を表敬訪問、金メダルの報告をいたしました。

第29回ユニバーシアード競技大会 第3位 女子柔道部 井上舞子選手

8月20日から24日に台北で行われた第29回ユニバーシアード競技大会において、本学経営学部3年生の井上舞子さんが78kg超級の日本代表選手として出場し、第3位に入賞を果たしました。また、女子団体戦にも出場し、見事優勝を飾りました。

今後も応援のほど、よろしくお願いたします。



井上選手、野瀬監督(写真左)とともに山口副学長(写真右)へ勝利の報告

世界の危機と建学の精神

大学創立50周年から早いもので2年目を迎えました。開学の昭和40年は、米国が北爆（ベトナム戦争1965—1975）を開始し、日韓基本条約が締結され、中国では文化大革命が始まるなどまさに激動の時代でありました。52年後の現在、激動は止むことなく、世界のそこかしこで、紛争や様々な悲劇が起こっております。その可能性は、我が国周辺でも例外ではなく、むしろ危機的状況にあるとさえ言えるでしょう。大乘仏教の精神を建学の理念とし、有為な人材の育成を目的とする教育機関として、我々はこの事態にどのような姿勢でむかうべきでしょうか。戦争の構造的要因や

●デフバレーとは

デフ（聴覚障害者）によるバレーボールのこと。チームメイトの声、審判の笛の音、ボールをはじく音などが聞こえない状態でプレーをする。また、最高峰の国際大会としてはデフリンピックがあるほか、世界選手権なども行われている。コートや用具、競技形式など一般のバレーボールのルールと同じである。（ネットの高さ男子2・43m、女子2・24m）

●デフリンピックとは

聴覚障害者の世界規模スポーツ大会のことで、「デフ（聴覚障害者）」と「オリンピック」を組み合わせた言葉。障害者のオリンピックとしては4年に一度「パラリンピック」が開かれているが、聴覚障害者は参加が認められていない。他の障害に比べて身体能力が高いという理由である。一方で、バレーボールのような集団競技において、意志の疎通が重要となってくるため、オリンピックのようなレベルの高い大会への出場は困難になる。こうした中で、戦前より、「世界ろうあ者競技大会」を4年ごとに開催。2001年イタリア大会からIOC（国際オリンピック委員会）より承認を受け、「デフリンピック」に改称。

経営学部 古川裕康助教が 学会賞を受賞



経営学部経営学科古川裕康助教の著書が、7月8日に開催された「異文化経営学会研究大会」（於：立正大学）において、2017年度学会賞（著書の部）を受賞しました。

また、同書は7月15日に開催された「多国籍企業学会 第10回全国大会」（於：日本大学）においても第8回学術研究奨励賞を受賞し、W受賞となりました。

●受賞著作

『グローバル・ブランド・イメージ戦略』

異なる文化圏ごとにマーケティングの最適化を導く

2016年／白桃書房

●著書の概要

本書は、どのような文化を持つ国や地域に、どのようなマーケティングを展開したら効果的なのかといった点をブランド・イメージの観点から検証したものです。そのうえでグローバル・マーケティングへの指針を模索・提示しています。詳細な先行研究の渉猟と、企業が展開する戦略をWeb上のテキストから数値化し分析に用いた手法が特徴的で、異文化という変数を考慮して検証を実施している点が評価されている受賞となりました。

COVER PERSON 表紙の人 No. 218



コミュニティ政策学科 3年
かのう ゆい
加納 由惟 さん



やサークル活動からスポーツの良さも知り、スポーツコミュニティの仕事もしたいと思います。先生や仲間と共に試験に向けて勉強して公務員になり、卒業後も市の職員として淑徳大学に関わってきたいと思っています。

この学部に入學して、様々なプロジェクトに市役所の方と一緒に取り組み、とてもお世話になりました。そこから公務員の仕事に興味を持ち昨年インターンシップに参加し、私も「まちづくり」の仕事をしたと思います。また部活

一季一言

淑徳大学 学長 磯岡 哲也

いそおか

てつや



「この世界危機に対処する幾多の方策が論議されることであるが、世界の各国が、（中略）互いに隣人愛の情義を基として思想的、文化的な歩み寄りを進めるのが、最も手近かな危機打開策ではないだろうか。」（『長谷川良信語録』94ページ）

国際紛争という危機に対処するために、は、国家間や指導者間での「隣人愛」や「思想的、文化的な歩み寄り」が打開策で

あり、これこそ私たちが今まさに取り組むべきテーマであると思います。

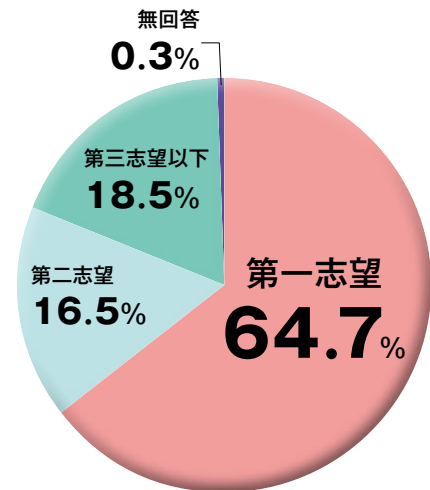
グローバル化の進展と人的流動性の高まりにより、我が国には230万人もの外国人が居住し、地域社会で多様な文化が共存している現在、学祖のお考えは、10年前から国や自治体で言われるようになっていく多文化共生の理念の原理ともいえます。教育機関としては、個人個人の心のなかに、外国の方々とともに生きる歩み寄りの芽を育てられるような、体験的な学修の場を設定することが肝要だと思っています。

キャンパス内を、多様な文化的背景をもった学生さんが行きかうことをめざすとともに、その日がそれほど遠くないことを期待しております。

大学の志望動機

縁あって入学した淑徳大学。大学進学を考える際、数多くの大学の中からなぜこの大学を選んだ？志望順位は？…その辺りをきいてみました！

Q あなたにとって淑徳大学の志望順位は？



淑徳生の3人に2人が「第一志望」

まず、淑徳大学の入学時点での志望順位について見てみましょう。大学全体の傾向をみると「第一志望」が64.7%、「第二志望」が16.5%、「第三志望以下」が18.5%、「無回答」が0.3%でした。淑徳大学に入学する時点で3人に2人は第一志望であったということになります。一般に、私立大学の入試では、入学者の約5割がAO入試や推薦入試での合格者と言われます。その多く場合が「専願」が条件になるので、受験校を決める段階でその大学のことをよく理解して「ここが第一志望」と決めて受験することになります。

一方、一般入試では併願受験をする人が多いので、他に第一志望校があった学生が入学する場合も少なくないと言えます。学部別の集計では、第一志望入学者の割合が総合福祉学部（73.2%）と人文学部（68.4%）でとくに高い傾向が見られました。



将来につながる専門的な学び

次に、「淑徳大学を選んだ動機」について17項目を用意し、複数回答方式で聞いた結果が右のグラフです。大学全体の傾向をみると、上位には「所属する学科・コースの専門的な勉強がしたかった」（57.0%）、「免許や資格を取得できると思った」（48.8%）、「将来つきたい仕事に必要な勉強がしたかった」（46.5%）が並びました。専門的な勉強をして将来目指す仕事に就くことが、大きな志望動機になっているようです。この傾向は前回（第6回）の調査結果でも同様でした。淑徳大学は1965年に福祉系の単科大学として開設され、当時から一貫して「実学教育」を掲げていますから、志望動機にもそれが反映されています。「オープンキャンパスに参加し、印象が良かった」（24.4%）、「実践的・実学的な教育方法に魅力を感じた」（15.0%）、「キャンパスの施設、設備が気に入った」（11.0%）にあるように、キャンパスを実際におとずれ大学の特色に触れて、入学を決めた人が多いことがわかります。

Q 淑徳大学を選んだ動機は？（複数回答可）



特集

データで見る！
みんなのキャンパスライフ

速報！

淑徳大学 学生生活実態調査

4年おきに実施している「学生生活実態調査」の結果をもとに、気になるデータを紹介します！



第7回 学生生活実態調査

【目的】

淑徳大学の自己点検・評価の一環として、学生が大学での学び等に対してどのように考え、どのような学生生活を送っているかを把握し、今後の大学のあり方を考える上での基礎データを収集する

【調査対象】

平成29年6月15日時点で在学している学部生（休学者を除く）

【調査方法】

学内システムS-Naviのアンケート機能を使用し、インターネット調査により実施

【調査実施期間】

平成29年6月15日（木）～ 平成29年7月13日（木）

【有効回答数】

3,752（回答率81.4%）

キャンパス	千葉		千葉第二	埼玉			東京	大学計
学部	総合福祉	コミュニティ政策	看護栄養	経営	教育	国際コミュニケーション	人文	
回答数	1,538	283	637	563	379	4	348	3,752
回答率	83.8%	67.9%	86.4%	75.8%	86.7%	80.0%	79.6%	81.4%

4人に1人が友人関係の悩みを抱えていることが浮き彫りに

右の円グラフの4つの設問に対し、「あてはまる／ややあてはまる／ややあてはまらない／あてはまらない」の4択で回答をしてもらいました。まず、「大学で新しい友人ができましたか？」では、「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計は95.3%でした。そして、「大学内の友人関係に悩みがありますか？」に対しては、同様の合計が27.5%という結果でした。つまり、4人に1人の学生が友人関係において何らかの悩みを抱えていることが伺えます。さらに、「悩みを相談できる友人」がいる人は79.0%、「悩みを相談できる教職員」がいる人は37.2%という状況が見えてきました。

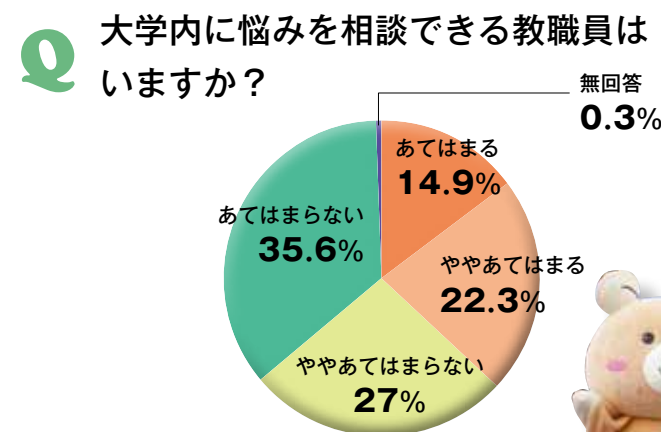
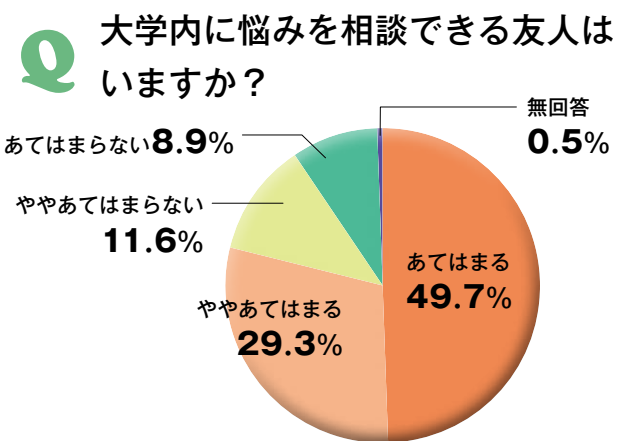
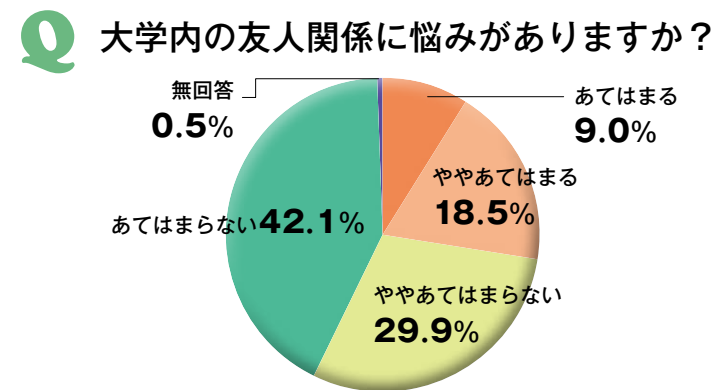
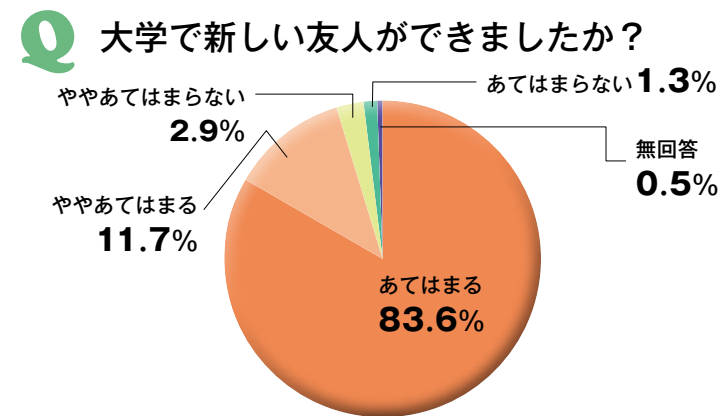
大学にハラスメントの窓口があることを知っていますか？

Yes **46.4%**



知っておきたい相談窓口

淑徳大学の各キャンパスでは、学生生活についての相談窓口を設けています。カウンセラーによる相談やアドバイスを行っているほか、ハラスメント（嫌がらせ、いじめ等）に関する相談に対応するためにハラスメント相談員を配置し、相談者の意向や希望を尊重しながら一緒に解決方法を探す体制を整えています。相談内容は、相談者の承諾なしにハラスメント相談員以外に漏れることはありませんから安心して相談ができます。友人や家族に相談しにくいからと言ってひとりで抱え込まず、これらの窓口をぜひ活用してください。



人間関係&悩み相談

入学時点では、ほとんど友人がいない状況からスタートする人が大半。友人関係や悩み相談の状況についても、今回の調査できいてみました

大学の満足度

Part2

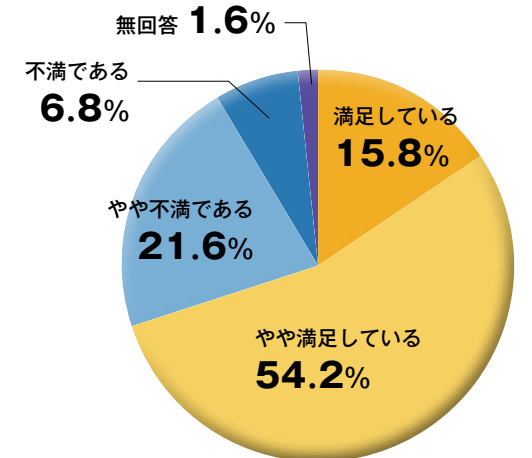
志望動機に続き、実際に大学に入学してからの淑徳大学に対する満足度についても質問しました



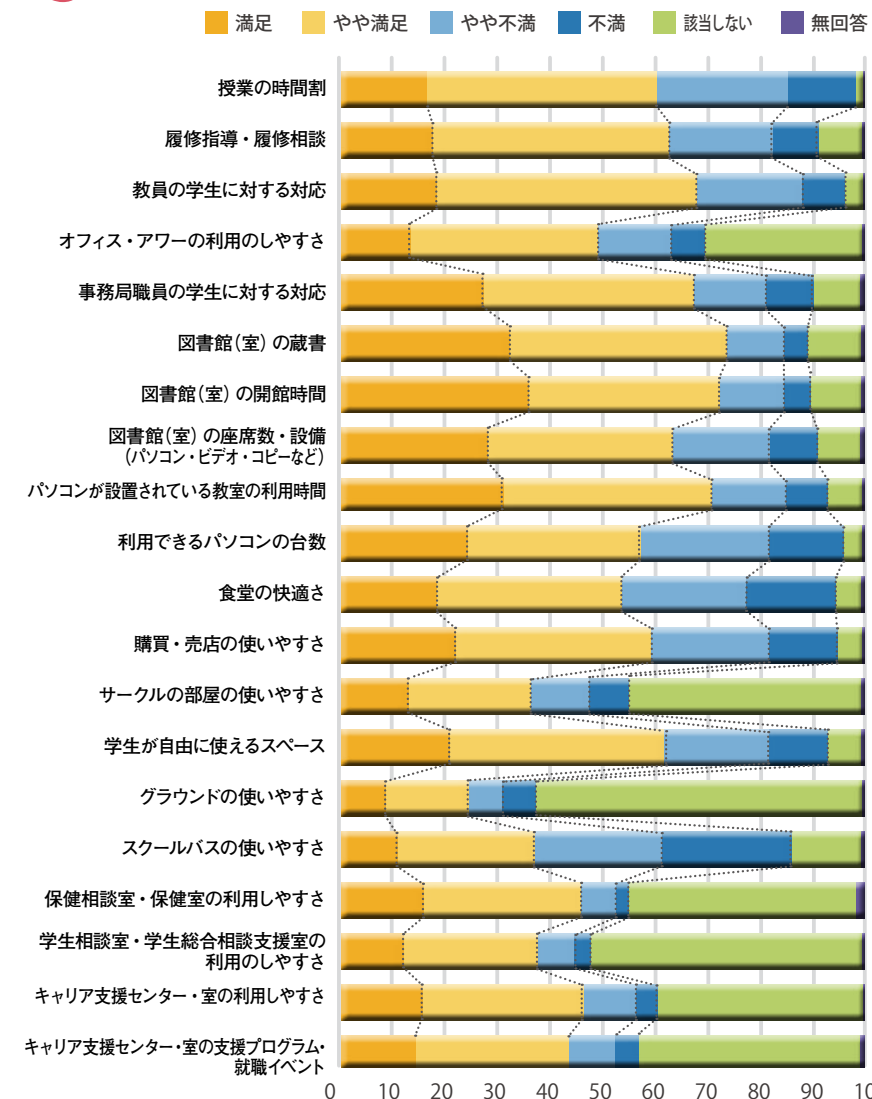
あなたは全体的に淑徳大学をどう評価していますか？

全体的な評価では、7割が「満足」

淑徳大学の全体的な評価を「満足している／やや満足している／やや不満である／不満である」の4択できいたところ、もっとも割合が高いのは「やや満足」(54.2%)で、「満足」(15.8%)と合計すると70.0%になります。これは、前回(第6回)の調査結果から10.2ポイントの上昇で、学生の満足度が改善していると言えます。なお、学年別にみると「満足」と「やや満足」はそれぞれ、1年次生(23.6%、59.9%)、2年次生(11.3%、53.9%)、3年次生(11.6%、49.7%)、4年次生(15.2%、51.4%)で、とくに1年次生の満足度が高い結果となっており、「満足」と「やや満足」を合わせると83.5%に上りました。



大学の教育環境についての満足度は？



教育環境への満足度ではキャンパスによる違いも

具体的にどのような点で満足度の高低があるかを確認するため、20項目を挙げそれぞれに対し「満足している／やや満足している／やや不満である／不満である／該当しない」の5択できいた結果が左のグラフです。回答者の学年やキャンパスによっては「該当しない」(黄緑)の比率が高い項目もありますが、グラフの暖色部分(オレンジ+黄色)と寒色部分(青+水色)とのバランスで、満足度の傾向を確認することができます。

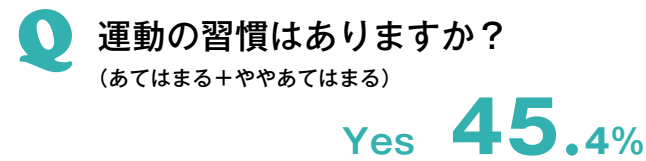
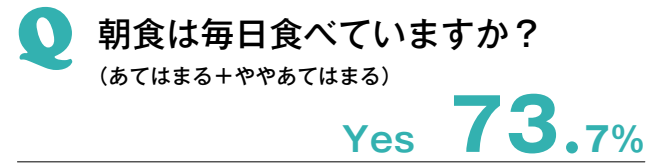
キャンパスや学部によらず総じて満足度が高かった項目は「図書館(室)の開館時間」「事務局職員の学生に対する対応」「教員の学生に対する対応」でした。一方、キャンパスによる満足度の違いが顕著だったのは、「図書館(室)の蔵書」「パソコンが設置されている教室の利用時間」「利用できるパソコンの台数」「食堂の快適さ」「購買・売店の使いやすさ」「キャリア支援センター・室の利用しやすさ」「キャリア支援センター・室の支援プログラム・就職イベント」でした。大学側でも今後の是正策を検討する予定です。

Part3

Part5

生活習慣と生活環境

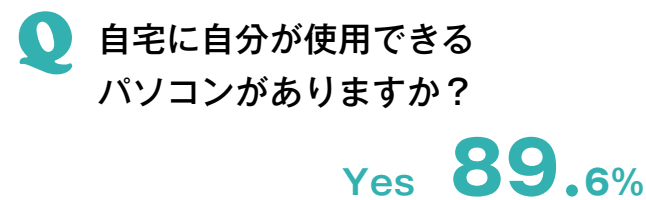
充実した学生生活をおくるうえでは、毎日の生活習慣や生活環境も重要！
大学では見えにくい、学生の皆さんの生活の様子についても質問しました。



大学生には酒・タバコより スマホ・PCが必需アイテムに

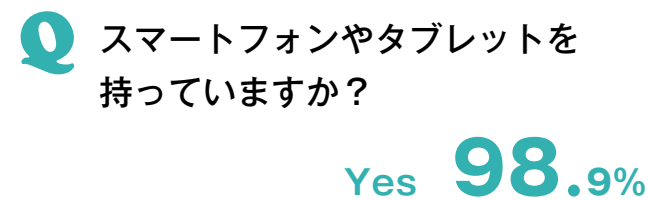
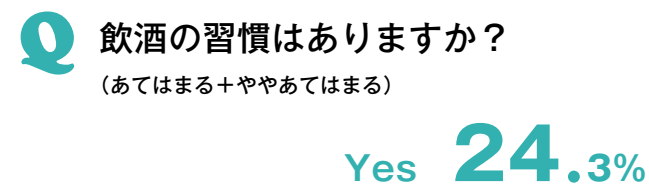
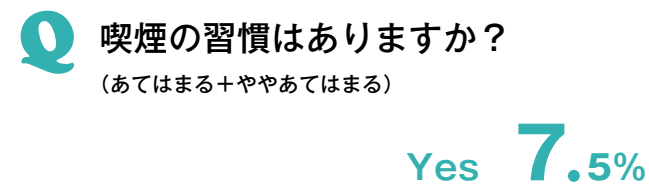
大学生の中には、成人して飲酒や喫煙を嗜む人も。そこで、「喫煙の習慣がある」かをたずねたところ、「あてはまる」と「ややあてはまる」を合計すると7.5%でした。学部別では看護栄養学部がもっとも低い結果でした。「飲酒の習慣」は、「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計が24.3%で、4人に1人が飲酒の習慣があるという傾向は学部によらず共通でした。

一方、時代を顕著に反映しているのが、スマートフォンやタブレットの所有率の高さでした。どの学部でもほぼ100%に近い学生が所有しています。パソコンの所有率はそれよりは少し低い89.6%でした。



健康な身体づくりにつながる 食生活と運動習慣の実態は？

大学生になると、各自の時間割で自己管理することが増えます。その中でポイントになるのが、朝食と運動習慣。まず、「朝食を毎日食べていますか？」という設問では、「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した人は73.7%でした。一方で「ややあてはまらない」もしくは「あてはまらない」と回答した学生は26.1%で、4人に1人が朝食をあまり食べない派と言えます。同様に「運動の習慣」についてもきいたところ、運動習慣がある派とそうでない派が二分する結果でした。背景には毎日の忙しさがあそうですね。

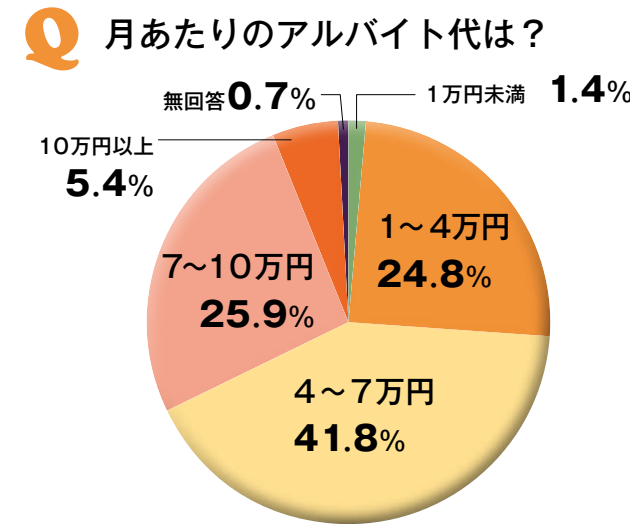
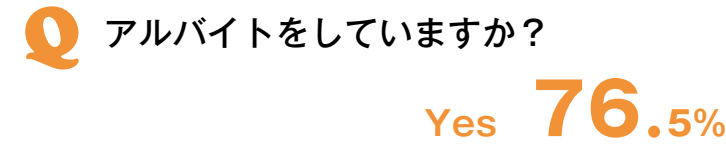


学生生活実態調査へのご協力ありがとうございました

学生の皆さん、学生生活実態調査のアンケートへのご協力ありがとうございました。この紙面で結果のすべてはご報告できませんが、まもなくできる報告書の冊子は、各図書館で見ることができ、大学ホームページにもアップしますので、ぜひご覧ください。今回の調査でも、これまでと同様に多くの学生が自分の将来を見据え、そのために必要とされる勉強をするために本学に入学し、日々の学生生活を送っていることが裏付けられました。

大学の全体的評価としては、「満足／やや満足」が70%に上りましたが、大学の教育環境、大学での人間関係、また、大学外での生活に関する調査結果には学部別の特色も見られ、学生の皆さんが日頃感じている問題点が浮き彫りになっています。この調査結果を大学全体および各キャンパスが、分析・検討し、今後の学生生活改善のために役立てていきたいと考えております。この調査にご協力いただき、感謝いたします。

第7回 学生生活実態調査委員会
委員長 鈴木恵理子



アルバイト代の多くが生活費に

アルバイトの職種（8項目を挙げ複数回答）では、「飲食業」51.9%、「販売」33.7%の2職種が圧倒的に多い結果でした。教員・保育士を目指す学生の多い教育学部では「塾講師・家庭教師など」が11.0%で他学部には比べ高いという傾向も見られました。そして、アルバイト代の主な使い道については、右下表の9項目で該当するものを複数回答できいたところ、もっとも多かったのは「生活費」の62.6%で、「通学費（定期代など）」30.4%、「携帯電話・インターネット代」25.4%、「学費」15.4%とあわせて、大半の大学生の大学生活を支えるうえでアルバイトが欠かせない状況であることが伺えました。なお、「その他」の自由記述欄には、「趣味」「娯楽」「貯金」が多く記載されていました。



Part4

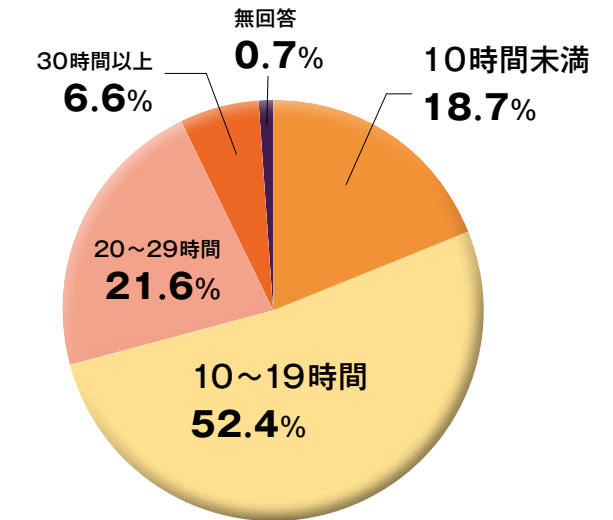
アルバイト

大学生の多くが、何らかのアルバイトをしながら勉学と両立しています。時間や家計の上でアルバイトの影響度が大きくなっている状況が見えました。

「授業期間中もバイト」が主流に

アルバイトの実施状況についてきいたところ、アルバイトをしている人は76.5%で、学部別では教育学部が86.0%ともっとも多く、人文学部が66.1%でやや少ない傾向がみられました。そして、月あたりのアルバイト代（複数のアルバイトをしている人は合計額）は、「4～7万円未満」が41.8%でもっとも多く、次いで「7～10万円未満」が25.9%、「1～4万円未満」が24.8%と続きました。大学の授業のある期間（4月～7月）における週あたりの平均アルバイト時間数は、「10～19時間」が52.4%でもっとも多かった一方、「30時間以上」と回答した人も6.6%いました。

Q 週あたりの平均アルバイト時間は？



● アルバイト代の主な使い道

生活費	62.6%
旅行・レジャー	33.2%
通学費（定期代など）	30.4%
交際費	28.8%
携帯電話・インターネット代	25.4%
学費	15.4%
課外活動	10.2%
留学	0.7%
ダブルスクール代	0.7%
その他	12.3%

淑徳人

No.

218

UTSUGI Shu

宇津木 秀さん

JAいるま野 宮町支店 勤務

JAの職員として、金融商品の営業を担当する宇津木さん。入組2年目ながら、徐々に地域の方々とも親しい関係を築きつつあります。激務の中でも折れない心を育んでくれた野球部での経験。JAを取り巻く環境が変わる中で、仕事において自身が果たすべき使命について語ってくれました。

埼玉県川越市を中心に、坂戸市・所沢市・狭山市など県央部に支店を構えるJAいるま野。名前こそ「農業協同組合」ですが、その業務の大部分は、営農事業から、一般の銀行同様の金融事業に移りつつあるといえます。2016年に入組した宇津木秀さんも、1年間の窓口業務を経て、今年から金融商品を扱う営業として外回りをしています。

信頼を得るために、

毎日を全力で取り組む

「仕事は非常に忙しく、毎月のノルマに追われて悩むこともありましたが、毎日お客様のところに通い、声を掛けることは欠かさないようにしています」

相談事があれば休日でも駆けつけ、時に草むしりなどの手伝いをしながら、じっくりと信頼関係を築きました。

「担当しているお客様の積立が満期になり、その後どうしようか悩まれていました。利息などの条件は変わらないのですが、そのお金を他社でなくJAに預けてくれたのです。それは私がいつも訪問しているからだと思っています、とてもうれしくなりました」

保険や貯金といった金融商品は、安心が伴わなければ選んでもらえないのです、と宇津木さんは力説します。

「昔は“お茶飲みに来たよ”と立ち話に寄ってくれたのに、最近は営業ばかりで…」というお客様の言葉に、ハッとさせられました。JAが必要とされ続けるには、これから先、地域の方々から信頼されることが更に重要になってくると思います」

お客様の元を直接訪問で

ともいきのころ

学祖と著作

学祖・長谷川良信先生は宗教家、教育者、社会実業家として知られているが、当然のことながらそれに関連する数々の著作を残している。仏教精神や心血を注いだ経験が基盤となっており、ことはもちろんだが、その明晰な頭脳、本質を極めようとする情熱もあってこそ、これらの著作が可能になったのであろう。良信先生の文筆の側面に光を当ててみたい。

名著「社会事業とは何ぞや」

良信先生の偉業を語るうえで著書『社会事業とは何ぞや』を外すことはできない。これを著したのは、弱冠29歳（1919年）のときだった。前年に東京・西巢鴨の「二百軒長屋」に移り住み、スラム街の救済に尽力。「マハヤナ学園」を創立した頃である。『社会事業とは何ぞや』も、マハヤナ学園出版部から刊行された。



大正時代半ばころの
長谷川良信先生

ちなみに、大正時代後期は、わが国の社会事業の成立期にあたり、日本社会福祉の古典“と後に呼ばれる名著が数多く出版された。内務省初代社会局長・田子一民の『社会事業』、日本女子大学社会事業科の創設者・生

江孝之の『社会事業綱要』、それに良信先生の恩師の一人である矢吹慶輝の『社会事業概説』などがあるが、これらはみな1922（大正11）年から1926（大正15）年の間に書かれている。この誰よりも早く若い良信先生が社会事業の書に世に出したことはまさに驚嘆に値すると言えるだろう。



同著のなかで、良信先生は、社会事業は個別・単発的事業活動ではなく、パートメントストアのような多様で総合性を持った事業活動である、と述べている。宗教・社会福祉・教育の三位一体による人間開発・社会開発という思想の源流とも言えるものであり、今日でも通じる斬新な概念である。まさに「社会事業の成立に対する予言的位置を持つ書」であり、また「わが国で最初の社会福祉に関する概説書」の位置を占めていると考えられる。

そして、本学の建学の精神をあらわす“Not for him, But together with him”（彼のために、ではなく、彼とともに）もこの著書のなかの言葉である

ことはよく知られている。独占資本の成立期にあたり、経済が発展する一方で内部には大きな問題を抱えた時代。それを単に階級的対立、すなわち資本と労働の対立という捉え方とは良信先生は一線を画した。仏教、それも大乘仏教の思想と信仰に裏付けられた社会事業こそが世の中を救う、つまりは貧民救済の運動になるという信念があった。人間は一人で生きているのではない。一人の人間をとりまくあらゆる事物・人々に支えられ、それによって生かされている存在である。そのような自分の存在がはっきりと自覚できたとき、社会の“恩”に対する感謝の心は自然と生じてくるだろう。そうすれば、他者を愛し、他者と積極的に関わろうとする社会事業は、当然のごとく成り立つだろう。これは、青年期における厳しい社会的実践、宗教的体験を通して、良信先生自身の内部で血肉化された思想であり、優者が劣者に、強者が弱者に、一方的に救ける“貧民救済事業”を良信先生がなぜ嫌ったのかを理解できる。救済するものも、されるものもあくまで対等であり、それが“together with him”の言葉で表現されることになった。

浄土教報記者としての活躍

良信先生は、26歳のときに病魔（胸

部疾患）に冒され闘病生活を余儀なくされるが、この頃、雑誌『浄土教報』などに論文・エッセイを相次いで発表。文筆活動に盛んに取り組む。療養所の退院後は『浄土教報』記者として再スタートした（1917年）。同誌は、良信先生の恩師、渡辺海旭先生が主筆をしていた浄土宗の機関誌である。良信先生の功績もあり、他の仏教関係の新聞・雑誌が内部向けの記事作りをしていたなかで、社会問題や社会事業に大きなスペースを割き、ジャーナリスティックな紙面を構成して、注目を集めた。この記者生活がよほど肌に合っていたとみえて、社会事業が忙しくなってもなかなかやめようとせず、昭和の初め頃、40歳過ぎまで記者生活が続いている。そのほか、『豊島公論』という新聞の編集顧問を務めるなど、文筆活動でも活躍した。その社会を見る目、格調の高い文体は、記者としての第一級の才能を感じさせる。

後年にも、欧米の宗教及び社会事業視察記やブラジル遊記など、その思想や見聞を著作にあらわした。機会があれば、それらをひも解き、文章や行間から、良信先生の思想に触れてみるのもいいだろう。さらに、学生時代に多くの本に触れることはもちろん、自ら経験したことを、整理・吟味し、文章に書き残しておくことも有益だ。自分の考えを表現し、他者と議論・共有することは、大学生活の大切な学びの一つである。

（参考）トウギャザー・ウイズヒム―長谷川良信の生涯（長谷川匡俊／新人物往来社）



【富士山登頂】初めての登山で苦労しましたが、登頂した時の達成感は忘れられません。学生時代の大きな挑戦となりました。

【海外語学研修(短期)】ホストファミリーや他大学の学生達との関わりから、文化や物事に対するさまざまな価値観を体感しました。



【軟式野球部】一学年上の先輩たちとの最後の試合では、寂しくもありましたが、繋がり大切さを感じました。



Photo × Photo

海外研修 初めての看護学研修

8月1日～18日までの18日間、アメリカテネシー州Southern Adventist大学看護学部において本学では初めての海外看護学研修が行われました。今回の研修は三育学院大学看護学部企画への参加として、本学からは4年生の2名と教員1名が参加しました。午前は英会話の実践的授業、午後は看護アセスメントを主とした看護専門科目を学びました。アメリカではシミュレーション教育が盛んでシミュレーション人形も進化しています。なんと、直

接会話ができるのです(大掛かりな施設・設備が必要ですが…)。英語での会話だけでなく、そこに看護の専門的判断を交えての患者さんとのやり取りは緊張しましたが大変有意義な研修でした。

テネシー州の日の入は20:30過ぎでレッスン終了後もまだまだ明るく、アフター5もピクニックやインクライン鉄道(世界屈指急勾配で有名)乗車などのイベントも盛りだくさんで充実した日々を過ごしました。



子ども食堂



今年度、松ヶ丘中学校地区では千葉市中央区自主企画事業「子ども食堂」を立ち上げました。共働き世帯の多い松ヶ丘中学校区での小学生の孤食対策を目的とし、10月から毎月1回、松ヶ丘七区睦会町内会館(旧ひだまり)での実施に向けて準備を進めています。開設にあたって、看護栄養学部ではアレルギーのある

子どもへの対応や調理方法をはじめとする看護学、栄養学に基づいた助言のほか、学生ボランティアによる協力を要請され、全面的に支援しています。

子ども食堂の定期開催に向けて8月5日に「プレ子ども食堂」を開きました。栄養学科平澤教授の指導の下で栄養学科の学生が、エネルギー、栄養素量まで計算した献立を立案し、食材リスト、調理方法、塗り絵式リーフレットの作成を行いました。当日は地域住民の方と学生、教員が調理、配膳をし、松ヶ丘小学校、仁戸名小学校の1年から6年生まで16名の児童に食事を提供しました。現在は設備什器の補充やスケジュールの検討など、両学科で支援しています。

食と地域創生 ～海苔消費量増大プロジェクト～

千葉県は数年前まで、海苔消費金額全国1位でしたが、ここ数年その消費が減少しています。淑徳大学と千葉市は包括的提携を結んでおりますが、その一環で、海苔の消費増大に繋げる活動が栄養学科の高松ゼミと千葉ゼミのそれぞれの学生が中心となり始めました。千葉市にある海苔問屋組合と協同し、新たな消費拡大に繋げられるようなレシピを開発しています。試行錯誤をして、和のイメージのある『海苔』を洋風にアレンジし意外な利用方法を探りました。試食会を経て、9月2日に行われた朝市(千葉海苔会館)にてお客様に試食していただき好評を得ました。学生の創意工夫と改良を加えながら、ひとまずの完成形を迎えることができました。お疲れ様でした。



関係者を集めた試食会の様子



試作品の「しおさいクッキー」



朝市においてお客様の反応も上々

ベトナム人介護福祉士候補者との交流授業



同じ福祉を目指す、日本の学生171名と、8月から日本で働く約181名の交流授業。国は違いますが、同じ現場で働く上で、文化の違いや類似点などが確認できました。

7月13日、淑徳大学において、日本・ベトナム経済連携協定(EPA)に基づくベトナム人介護福祉士候補者181名と本学社会福祉学科の3～4年生171名との交流が行われました。介護福祉士候補者は、ベトナムの大学や短大で看護師の資格を取得後、ベトナムで12か月の日本語研修を受け、日本語能力試験のN3以上を取得した方が来日しています。

1年間という短期間で、日本語で日常会話ができるというレベル(N3)を取得した頑張り、国家試験合格を目指す淑徳大生にとって、大変いい刺激になったことと思います。

交流では、日本やベトナムの医療・福

祉の話だけでなく、それぞれの国の文化や生活の相違、さらには恋愛観や結婚観など、話が盛り上がっていました。ベトナムの介護福祉士候補者の中には、これまで、既に結婚されている方、子供を母国に残して来られた方なども何人かおり、人生を賭けて来日し、日本の介護を学び、働こうという意欲的な姿勢は、日本の若者も見習う必要があるでしょう。

このような交流は今年ですでに5年目になりますが、11月からは介護の技能実習制度の始まるわが国において、外国人介護士が福祉施設に増加することが予想されますので、国際交流を体験できる意義は大きいと思われます。

千葉ロッテマリーンズ 「淑徳大学 スペシャルナイター」 プロジェクト

8月2日、第9回目の「淑徳大学スペシャルナイター」が開催。4月より24名(実践心理学科、教育福祉学科各1名含む)が参加する観客動員数増加を目標に掲げた企画実施型プロジェクトです。6月には千葉ロッテマリーンズ、ジェフユナイテッド千葉、千葉市役所等の8名のアドバイザー、ゲストを前に中間発表をおこなうなど学外者の協力のもと、当日に向けて準備をしてきました。

当日は、毎年恒例のストラックアウトや女性をターゲットにしたSNS活用企画など新しい試みも行われました。ストラックアウトはアドバイザーの助言を活かした手際のよい運営が奏功し、例年の倍近い参加者に楽しんでもただけました。またプロ野球球場での初の試み(?)として、車椅子バスケットボール学生実行委員会の協力のもと全国強豪・千葉ホークス選手3名を講師としてお招きした車椅子バスケットボール体験会をおこない約150名が参加しました。



目標の観客動員数には届かなかったものの、大好きな千葉ロッテマリーンズとより近くで関わる事ができた喜びや企画を一から実現できた達成感、主体的に物事を進めることの大変さ、計画がうまくいかないときに再調整を図る粘り強さ、そして学生同士の情報共有の大切さを身をもって学んだことが各自のレポートにまとめられていました。9月下旬には同じアドバイザー・ゲストを招いて最終報告会がおこなわれました。

仮想ミュージアム発表会！

人文学部歴史学科には、本学で唯一、学芸員資格を取得できる課程が編成されています。その中でも重要な科目が博物館実習。それぞれの博物館における館務実習だけではなく、事前事後指導をしっかりとやることが大学には求められています。担当教員は、元学芸員の森田喜久男教授。現役時代に現場で博物館実習を受け入れていた経験にもとづき、他大学にはないユニークな事前指導を行っています。その一つ

が、学生に仮想のミュージアムを作らせるという課題。学生諸君は5つのグループに分かれ、「賭けもの博物館」・「レコード博物館」・「いわくぶつ館」・「ミライ島歴史体感センター」・「戦争文化博物館」などユニークなミュージアムを構想し7月5日に発表会を行いました。決して奇をてらったものではなく、ミッション・目標入場者数・広報誘客戦略までしっかりと考えさせる本格的な内容でした。



旅行サークル「行こう国内へ」

【代表者】寺崎渉悟(歴史学科3年)
【創部】2015年 【部員数】13名
【活動日】毎週木曜日 13:00~14:00
【活動場所】6号館食堂フリースペース

こんにちは！「行こう国内へ」サークルです！私たちは現在、歴史学科の3年生6名、2年生7名の計13名で活動しています。

主な活動はサークル名の通りですが(笑)色々なところへ旅行したり、そのための事前準備に時間を使っています。活動日に旅行先の決定やそのための手続き・計画を立て、休日や長期休みを利用して実際に旅行に行っています。旅行先は泊まりでないと行けない遠方から日



帰りで行ける近場まで様々です。

今後、私たちは短大生・表現・歴史の学科の垣根を越え、様々な学年の人と交流したいと考えています。旅行好きな人はもちろん、大学在学中に色々なところへ旅行したいという人など気軽に見学に来てください！お待ちしております！

板橋区内のイベントで表現学科学生が活躍中！



8月5日、6日に板橋区立文化会館で行われた公益財団法人板橋区文化・国際交流財団主催の「第48回ふれあいステージ」に、表現学科白寄ゼミの学生たちが運営スタッフとして参加しました。

さまざまなジャンルのパフォーマンス団体が参加し、多くの観客が来場したこのイベントで、学生たちは、夏休みを返上し、ダイジェスト版DVDの作成に取り組みました。

この活動を通じて、板橋区の方々と交流しながら、日頃の学びの成果を試す貴重な体験をすることができました。

防犯対策チラシ作成に表現学科学生が協力！

板橋区志村警察署の防犯チラシ作成に表現学科学生が協力しました！チラシに登場するキャラクターのデザイン、レイア

ウトまで全てを表現学科・白寄ゼミの学生が担当。8月に板橋区内、3000の町会回覧版、2000の掲示板、そして、3万部の新聞折り込み広告とともに配布されました。また、10月に警視庁の「特殊詐欺防止キャンペーン」でも再度配布される予定です。



サマーナイトフェスタを開催しました



7月10日、サークル連合会主催の恒例コンサート「サマーナイトフェスタ」を1-211教室で開催しました。今年は17団体のサークルがアカペラ、バンド演奏、ダンスなどを2時間以上にわたって披露しました。370名以上もの学生が参加し、年々盛り上がりを見せています。

3部構成のプログラムで、学生たちは日ごろの練習の成果を発揮。プログラムが進むにつれて熱気が立ち込め、時間がたつのも忘れるような大盛況でした。

今回は12月に「サイレントナイトコンサート」を開催予定です。ぜひ楽しみに！

オープンキャンパス(教育学部)



埼玉キャンパスでは7月～8月に3回、オープンキャンパスを実施しました。その中で教育学部では、今年も図書館1階ラーニングコモンズにて体験授業・個別相談・フリートーク等を開設し、多くの高校生や付き添いの保護者の方々にご参加いただきました。体験授業は保育士・幼稚園教諭希望者向けと小学校教諭希望者向けのコーナーが各2カ所ずつ展開され、それぞれ熱気に包まれました。ご参加された方々は、個別相談では教員の説明に対し熱心に耳を傾け、また、現役学生によるパネルシアター上演にも見入っていました。

教員免許更新講習(8/21～25)

必修領域2日、選択必修領域講習3日、計5日間にわたる平成29年度淑徳大学免許状更新講習が実施され、受講生である現場の先生方は、猛暑の中、たいへん熱心に取り組んでいらっしゃいました。

「学祖展示室」が開設されました

埼玉キャンパス1号館中庭横に、「学祖展示室」が開設されました。ここでは、淑徳大学を創設した学祖長谷川良信先生の生涯や功績を写真や資料でご紹介しています。どなたでも自由にご覧いただけます。ぜひ学祖の足跡に触れてみてください。

●開室時間 授業期間中の平日9:00～16:30

ゼミ合宿を実施しました

経営学部経営学科保苺ゼミ所属の2年生全12名で1泊2日のゼミ合宿に行ってきました。視察先は、国内ビール製造大手2社の工場。初日に訪れた工場は、最寄り駅から少し歩くものの町中にあり、誰もが気軽に楽しめるような体験型の工場ツアーとなっていました。原材料の麦芽を実際に食べたり、麦汁の飲み比べがあったりと、参加者を楽しませる工夫が随所に見られました。一方の2日目に訪れた工場は、大自然に囲まれ、環境への配慮も大きく取り上げた説明になっていたのが非常に印象的でした。



ゼミ生は、両工場のビールへのこだわりや愛情、そして、対応して下さった社員の説明の見事さに感嘆しきりでした。今後、ゼミでの事後学習を踏まえ、学園祭でのゼミ発表へと仕上げていくことになります。どのような出来になるのか大いに期待したいと思います。



学園祭&ホームカミングデー のお知らせ

埼玉

千葉

東京

埼玉 Campus

第22回 淑徳祭

ささえ愛 ～みんなでつくる淑徳祭～

開催日 10月21日(土)・22日(日)

ホームカミングデー

10月21日(土)

【特別講演会(教育学部 特別企画)】13:00～
「特別な教育的支援を必要とする子ども
への支援について」

講師：川越市立特別支援学校 校長 吉野 和仁 先生

【懇親パーティ】 15:00～(埼玉キャンパス「シルクロード」にて)



千葉 Campus

第51回 龍澤祭

50+1

-51回目こんにちはwith SU-

開催日 10月28日(土)・29日(日)
28日には、よしもとお笑いライブ開催!



ホームカミングデー 10月28日(土) 12:30～

【講演会】12:50～「木浦共生園と私 ― 淑徳の学びと実践 ―」

講師：社会福祉法人こころの家族 理事 田内 緑氏

【特別企画】13:50～「寮生放談」

大慶祭VS第一男子寮、ラグビー部OBほか

【懇親会】15:15～

龍澤祭実行委員会 一同より

昨年度は第50回龍澤祭を成功させて、大きな節目を迎えることが出来ました。

今年度は「50+1」というテーマを掲げ、龍澤祭の歴史を1から築いていこうという気持ちを持って取り組みました。回を重ねるごとに伝統は積み重なり厚くなっていき、今の龍澤祭の姿があります。これから先も新しい龍澤祭の色を1つずつ加えていき、龍澤祭の歴史を築き上げていきたいと思っています。

東京 Campus

第54回 淑徳祭 ～つきかげ祭～

Power of smile ～飽きない秋にしてやるぜ～

開催日 11月18日(土)・19日(日)

詳細はホームページをご確認ください

知識モリモリ×健康モリモリ

—今回は看護学科 大野 美千代 先生に
伺いました。

vol. 18



フットケアをしましょう

皆さんはフットケアをしていますか？フットケアの代表は、爪切りと足の皮膚の手入れです。

足の爪は、指先を保護するだけでなく、「立つ」「歩く」といった基本的な動作の要でもあります。短く切りすぎると足に力を入れてくくなり、長いままでは靴にあたるなどして痛みの原因になります。

また、爪の伸ばしすぎや、爪の角の切りすぎは巻き爪の原因にもなりますので、正しく爪を切ることが大事です。

最近は、足の爪にもネイルカラーや付け爪(人工爪含む)をする人が増えました。爪の表面からは常に水分が蒸発しています。付け爪を装着すると、爪の水分の蒸発が妨げられ、爪が弱くなってしまいます。また、ネイルカラーや付け爪は、材料の衛生管理が悪いと、かぶれやかびの発生といった問題が起こることがありますので、清潔な材料をきれいにした足に使いましょう。

足の皮膚には、タコ、魚の目、角化、ひび割れ、水虫などいろいろな問題が起こります。これらが原因で足に痛みが生じたり、足のバランスが悪くなったりします。また、古い角質には細菌が繁殖しやすく、臭いの原因にもなります。このような問題の多くは、足を毎日洗い、保湿することで予防・改善することができます。

足の裏は小さな小石1つでも気になるほど敏感でありながら、毎日あなたの体重を支え、活動に耐えられるほど頑丈でしなやかです。毎日フットケアをして、足のトラブルから足を守りましょう。

編集後記

今号『Together』の発刊時は中秋満月の時期に当たる。カレンダー上では10月4日は陰暦8月15日、つまり中秋の節句である。毎年日には違うが、10月号の編集と出版は、中秋時分になるのだ。

『Together』編集後記を担当するのは2年前の207号以来で、今回は3回目になる。振り返ってみると大体2年に1回は回ってきている。ということは、『Together』編集チームに加わって5年になり、編集しながら中秋の名月を5回迎えたことになる。来年こそは編集の仕事がない中秋かな(^^) でも、少々寂しい気もするが。

中国の諺に、「人は喜びに合うと気分は爽快になり、お月様は中秋になると取りわけ明るく輝く」というものがあるが、発刊時に明るい満月が見えると良いなど期待している。そしてこの諺に因んで、読者の皆様が爽やかに過ごされることを願う。(雁)

「淑徳大学広報誌」に関するご意見、ご感想などのメールをお待ちしております！ reply@soc.shukutoku.ac.jp

千葉キャンパス

総合福祉学部 コミュニティ政策学部 大学院 総合福祉研究科

〒260-8701 千葉県千葉市中央区大蔵寺町200

TEL: 043-265-7331

千葉第二キャンパス

看護栄養学部 大学院 看護学研究科

〒260-8703 千葉県千葉市中央区仁戸名町673

TEL: 043-305-1881

埼玉キャンパス

国際コミュニケーション学部 経営学部 教育学部

〒354-8510 埼玉県入間郡三芳町藤久保1150-1

TEL: 049-274-1511

東京キャンパス

人文学部 淑徳大学短期大学部

〒174-0063 東京都板橋区前野町6-36-4

TEL: 03-3966-7631